多様性が大事な２つの理由

グローバリゼーションの影響なのか、多様性と言う言葉をよく耳にする今日この頃ですが、そもそもどうして多様性、色んな奴が組織に居る事、は大事なのでしょうか？

まず一つ目の理由は、多様性はイノベーションを起こす可能性を高めるからです。言わずもがな、イノベーションを起こせば他の会社よりも利益を上げる可能性が上がるわけで、どこの会社もイノベーションを起こせるなら起こしたいと思っているでしょう。そして、イノベーションは点と点を繋げる事だとジョブズは言いましたが、その点は知識や経験や観点などの事を言い、多種多様なそれらがあれば点と点が繋がり、線AKAイノベーションになる可能性が高まると言うわけです。

要するに、色んな奴らが集まって話し合えば面白いアイデア、誰も聞いた事が無い奇想天外なアイデアが生まれる可能性が高いと言う事です。

二つ目の理由は、群集心理を避けるためです。

組織において、同じような奴らばっかりが集まってしまうと、崖からゾロゾロと飛び降りて集団自殺をするレミングのように、組織の決断や判断に刃向う者は現れず、盲目な集団と化してしまうからです。より良い決断や判断を行うために必要なのは、幅広く選択肢を検討し、選ばんとしている選択肢に対する反対意見も聞いた上で決断や判断をする事なのです。

特に日本では、集団主義性と上下関係が欧米諸国と比べたら強く文化的に根付いており、このバランスを少しでも調和する多様性を持った日本人か、はたまた上下関係を無視する事を許される外国人を組織に招き入れる事が良いのかもしれません。

ただ、多様性なんてのは一種の外来種のようなもので、組織と言う生態系にどのような影響を及ぼすのかは見物ですね。